

第2回 昭島市男女共同参画推進委員会

議 事 要 旨

〔日 時〕 令和6年7月26日（金）18：30～20：45

〔場 所〕 アキシマエンシス校舎棟 男女共同参画センター

〔出席者〕

- 1 委員： 金野美奈子委員長、柴田邦臣副委員長、上川純子委員、佐藤晴美委員、長谷部高史委員、
牧野愛子委員、向井翔兵委員、森川民子委員
- 2 事務局： 滝瀬子ども家庭部長、吉田男女共同参画・女性活躍支援担当課長、渡邊男女共同参画センター
担当係長
- 3 傍聴者 0名

〔配付資料〕

- ・ 昭島市男女共同参画プラン令和5年度進捗状況報告書・モニタリング調査一覧
- ・ 担当課評価点数内訳
- ・ 目標Ⅰ～Ⅳ担当部署評価内訳
- ・ 昭島市男女共同参画推進委員会評価基準
- ・ 令和5年度進捗状況委員評価及び意見一覧（目標Ⅰ、Ⅱ）

〔議事要旨〕

1 開会

資料の確認

2 議題

（1）男女共同参画プラン令和5年度進捗状況調査結果について

◇目標 1 多様性を認め合い、すべての人が尊厳をもって暮らすことができる意識づくりとして、男女共同参画に関する理解促進、多文化共生、固定的な性別役割分担意識の解消、性の多様性も含めた人権意識の情報提供や啓発を掲げている。施策の方向 1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成 No. 1 女性活躍支援担当では例年2回程度であったセミナーについて、大規模な講演会を取り止め、セミナー開催数を増やし、男女共同参画プランに掲げる様々な施策に対応するため、推進委員会での意見や、セミナー開催時のアンケートの結果から、回数を増やしたものである。参加者数が昨年度より10名増加し、事業区分を充実とした。②SDGs等国际的視点の反映と多文化共生の推進 No. 4 企画政策課の職員がやさしい日本語のセミナーを受講し、外国人への支援に繋げた。③関係法令・制度に関する情報提供及び制度・慣行の見直しに向けた啓発・情報提供 No. 5 女性活躍支援担当は啓発・情報提供において、回数が減少したため、次年度に充実させたいとしたため令和5年度は「b」評価とした。④固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進 No. 6 ジェンダー（社会的性別）にとらわれない意識の啓発・広報では家事育児シェアリング講座の開催や昭島市公式Xを利用した啓発を実施し、No. 8 メディア・リテラシー向上に向けた啓発の推進の指導課では 発信資料の点検を行ったことなどの実施で担当課評価が大きく上がる結果となった。2 人権・男女平等に関する教育・啓発①学校教育における人権・男女平等啓発では、No. 9 女性活躍支援担当は、性的同意年齢の引き上げについて学校の協力を得て、「Hi, あきしま」を

中学校へ配付し啓発した。②家庭・地域等における人権・男女平等啓発No.11では福祉総務課「子どもの権利条約」をテーマとした講演を実施し、人権意識の醸成を図った。委員からNo.9女性活躍支援担当が、「b」から「a」評価になった理由についてご質問をいただいた。こちらは「HI, あきしま」の記事について、市民編集委員による記事の作成により男女平等の家事育児シェアセミナー報告、同意、多様性等の内容を多く掲載できたためによる。3 多様性への理解の促進②性の多様性に関する啓発及び性的マイノリティへの支援の充実No.15秘書課では、相談件数が少ない中での専門相談窓口の開設を課題としており、市独自の窓口設置の具体的な時期は予定していないとのことであった。指導課ではコーディネーターの設置等により相談体制の整備を行い「a」評価である。No.16職員課は研修受講者を増やしている。関係法令・制度に関する情報提供及び制度・慣行の見直しの評価が下がっていますので更なる取り組みが必要と考えられる。

目標2 4あらゆる分野における女性活躍の推進①女性の活躍推進に向けたポジティブ・アクションの普及啓発では、No.17産業活性課は「b」評価であったが、コロナ時の緊急支援対策対応や、数年ぶりのくじら祭開催、産業まつりの通常開催等があり業務多忙であった。女性活躍支援担当では東京都しごとセンター多摩との共催にて、働きたい女性と企業をつなぐイベントを新たに開催した。女性のキャリア形成に向けた支援では、No.20産業活性課にて実施イベントの減少により、担当課評価が下がった。今後も参加しやすいテーマのイベント等の開催を検討していくとのことであった。市職場内及び市主催事業、審議会等における女性参画の推進No.21職員課の市女性管理職の登用、審議会等における女性委員比率の向上では、令和5年度の女性管理職の割合は、30.3%となり、男女共同参画プランの令和12年度の最終目標値もクリアしているが、第5次職員次世代育成支援プランの目標40%を新たな目標として引き続き達成を目指す。地域における女性リーダーの育成では、啓発や支援を実施し、担当課評価が上がったものが2件あった。男女共同参画登録団体が増えているため、引き続き連携や支援をすすめたい。5 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの実現ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進こちらは、評価の増減はありませんでしたが、職員課において時間外勤務時間の減少や、女性活躍支援担当でのセミナーの開催等が行われました。また、昨年の推進委員会で市民に意識改革を推し進める側の行政が大きな変革が必要であり、そのためには管理職の意識改革なくして働き方改革はありえない、という提言を男女共同参画庁内推進委員会で報告した。事業所におけるワーク・ライフ・バランスについての意識啓発では、No.28職員課で市役所内の育休の取得が積極的になっており、男性職員8名が取得し、取得率は88.9%となった。意識改革が進められているものとする。6 家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの実現子育て支援サービスの推進No.31学童クラブの充実では、待機児童数が前年度から比べると大幅に増えたため、評価を下げたとのことであったが、学校の余裕教室を活用した居場所作り等工夫しながら対応を進め、学校と連携し待機児童の減少に努めた。介護支援サービスの推進のNo.33は令和4年度にコロナ禍のため開催出来なかった家族介護者教室が開催され、評価が「d」から「a」となった。引き続き参加しやすい内容での開催についてさらに検討を続けるとのことであった。男性の家事・育児・介護等の参画の環境整備では、No.36の介護福祉課ではNo.33と同じ家族介護者教室の開催が記載されているが、No.36の評価については参加者の24人中男性が4人だったため、男性参加者を増やす方法について検討していきたいということで、「b」と評価したとのことであった。目標2の施策については担当課評価の合計が7点増加し、活動を大きく進めた部分となった。【事務局】

(2) 男女共同参画プラン目標Ⅰ、Ⅱの評価について

☆開催前に確認するが、この会議の中で、評価を修正した場合には、最終判断の評価を議事録に記載して

いただきたい。【金野委員長】

◆各目標指標の右側の目標値であるが、現状値は入れられないか。その数字が入っていると評価がしやすいと思う。現状値の記載がないと到達度が分かりづらい。【長谷部委員】

◇市民意識調査を隔年で実施しているが、全ての目標指標を網羅していないため、現状の数字等はモニタリング値を参考にいただければと考える。【事務局】

目標 I-1 男女共同参画に関する理解の促進と意識の醸成

①男女共同参画に関する理解の促進に向けた情報提供・啓発の推進

☆各委員からの意見は、・これまでの地道な活動により、男女共同参画センターの周知が進んでいる、・様々なテーマを取り扱っており、「多様性」の時代に合っている、・今後もセミナーの定員を下回った要因を考慮して、更に参加者が増えることを期待する、・庁外研修受講者は各部署への伝達講習を実施するなど、より意味のある研修に期待する、・様々な視点でのテーマ設定がよい、・色々な企画を考えており積極的な活動だと感じた、等いただいている。【金野委員長】

◆到達度が近ければ優にしようと考えたが、不明なため「良」とした経緯がある。【長谷部委員】

◆男性の理解の促進という部分に苦慮していると感じたので、違う切り口から検討すると良いのではないか。【森川委員】

◆No.3 職員課について「b」評価の理由を質問したが、それは、この課はどうなったら「a」と付けようと思ったのか知りたかった。昨年度を踏まえてこの評価にしていると思うが、色々やってみてそれでも4人減ったから「b」なのか、多くの受講者数の中で4人という数字は大きいのか。どう捉えていくべきなのか。チャレンジした事を評価するか、または去年と同じでも「a」とする事を良しとするのか、ということについて、全体を通して考えた。【佐藤委員】

☆職員課としては、数を増やすことを念頭に置いていたのであろうか。伸びしろを評価に入れるということか。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】 ◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

②SDGs 等国際的視点の反映と多文化共生の推進

☆各委員からは、・職員が研修を受講するなど新たな取組が見られた点は良い、・在住の外国人の方々への情報提供体制は努力されている、・在住の外国人の方々のみではなく、現に共生していく市内の日本人の方についても多文化共生についての広報、情報提供が必要、・職員が技能習得に努めた事を評価する、・対応者となる職員への研修が良いという意見がある。【金野委員長】

◆男女共同参画センターにおける悩みごと相談での外国人の相談件数はどの程度か。【向井委員】

◇相談時に国籍を尋ねていないため、一見して分かる方は数えられるのだが、アジア系の方々の場合等、ご本人が開示しない場合は把握しかねるため、確かに若干数外国の方の相談はあるのだが、確かな数字が出せない状況である。【事務局】

◆どのようなことが支障となるのか確認したかっただけなので、特定するために質問したわけではなく、内容について承知した。【向井委員】

◆No.4 広報課の「市民便利帳」が自宅に届いたが、確認したところ外国語版は平成27年度版しかないようだが。【森川委員】

◇外国語版については、把握していないので確認するが、ホームページで英語、韓国語、中国語が見られ、随時内容が更新されているため、そちらをご確認いただくと最新の情報が得られる。デジタル版は冊子版のデータを取り込んでいるだけなので、ホームページが最良だと思う。【事務局】

◆広報課の市民便利帳について評価しにくい、前回いつ作られて、どのような情報の更新が必要なのか、

緊急性、重要性があるのかなど、今後の課題、予定の記載欄の部分に具体的に記入してあると評価しやすいので、検討いただきたい。【牧野委員】

☆市民便利帳は冊子版とデジタル版の両方を作成しているのか。【金野委員長】

◇デジタル版は冊子をデータに落とし込んだものとなっている。同時作成ではないようである。冊子が先に完成する。【事務局】

◆市民便利帳の外国語版は作るかどうか、決まっていないのか。【牧野委員】

◇確認してご報告したい。【事務局】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

③関係法令・制度に関する情報提供及び制度・慣行の見直しに向けた啓発・情報提供

☆委員からは、・あまり変化がなく、取組への姿勢が弱い、・積極的に情報提供をしていると感じた、・様々な手段を利用した効果的な情報提供を期待する、・引き続き法令や制度のアップデートがあれば発信してほしい等の意見が出ている。【金野委員長】

◆新しい事業の実施が挙げられていれば評価も変わるが、ここの部分は毎年変化がないと感じている。それであれば「良」という評価はできない。【長谷部委員】

◆長谷部委員のご意見のとおり、変化がないものに何を意見するのかということであり、意見のしようがない。【佐藤委員】

★評価についてご説明させていただく。現状でどのようなことができているか、後退することもあるため、その確認は必要である。一方で前向きかどうかという部分を評価されるべきということもある。委員それぞれの観点にもよる、委員会としてはそのあたりをまとめていくようである。【柴田副委員長】

☆各委員の観点から評価いただければよろしいかと思う。【金野委員長】

◆自分はこの2年分の報告しか見ていないが、長谷部委員の言うとおおり、以前から変わっていないという事であれば、「良」から「可」へ変更したい。【佐藤委員】

◆この部分は広報が難しい部分なのではないか、これ以上どう展開していくのか。女性活躍支援担当の様々な手段というのはどのようなものか、積極的な広報をすれば目にもすると思うが、なかなか手段がなくこのまま同じ内容が続いていくとなると、来年以降も「可」の判断が続いてしまう。これで不足がないという事であれば、「良」でも良いのではないかとも思う。【向井委員】

◇既に昭島市公式XやLINE、Hiあきしまで広報は実施しているが、関係法令・制度に関する内容のみで、手に取っていただけるチラシを作成するのも厳しいところではある。ホームページは必要なことがある方が必要な情報を探すために閲覧するため、興味のない情報は見ていただけないのが現状かと思う。是非委員からお知恵をいただきたい。【事務局】

★確かに難しい部分であるが、関係法令を伝えていくことはとても重要なことである。パネル展の中で解説することや、Xで連載企画、リレートークの様に専門家にかみ砕いて分かりやすく説明してもらうなども1つの手ではないか。【柴田副委員長】

☆コンテンツ面での工夫でより浸透させるということはあると思うので、検討いただきたい。【金野委員長】

◆ハードルは高いが、若い方の意見を聞くことはできないか。法律を学ぶ学生からどのようにPRすれば良いか、パネル展でアイデアを出してもらうなど、ボランティアになるかもしれないが、違った視点、外からの視点、これからの若い方に必要な情報であるので、組み入れてはどうか。新たなアイデアが出てくるのではないか。【長谷部委員】

☆確かに色々な世代の意見を聞くことは必要である。【金野委員長】

◆評価：可【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：可【佐藤委員】 ◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

④固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進

☆各委員からのご意見は、・これまでの地道な活動の成果が現れている、・工夫して情報提供をしていると感じた、・広報課が広報誌の編集の際に気を配っている意識については、非常に良い、・年代毎の問題点を掘り下げる必要がある等のご意見をいただいた。【金野委員長】

◆秘書課の事業が気に入り「良」にした。実施内容に工夫が見られない気がする。【森川委員】

◆セミナーの参加者について、今までは男性の参加があれば、良いと評価していたが、定員100名のところに14人なのかということにもなるので、出来れば定員を記載していただければ、さらに評価しやすい。【牧野委員】

◇検討する。【事務局】

◆No.7 広報課について評価した。編集の際に男女平等の視点を意識し、言葉づかい、イラスト、等に配慮している事は、他の部署にも共有し今後活かしていただきたいと思う。【向井委員】

◆固定的な役割分担というのは難しい部分である。私事であるが、自分は毎朝の食事を家族に作っている。これはコロナでリモートの在宅勤務になったためであるが、今も続いている。子どもの学校のお弁当も作るようになった。皆さんが褒めてくださるが、そのことや、褒められたときに自分が満足すること。どちらもアンコンシャスバイアスで、取り除くことが難しいものである。本当は、誰が食事を作っても良いわけである。しかし、女性が担うものという思い込みが根深いので、だからこそ、この取り組みは大切なことだと思う。地道に続けていく必要があるので、今後の期待も込めて優にした。【長谷部委員】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：優【金野委員長】

目標 I-2 人権・男女平等に関する教育・啓発

① 学校教育における人権・男女平等啓発

☆各委員は、・次世代を担う子どもたちに、学校教育を通じて啓発を行うことは非常に大切である、・タイムリーな啓発と継続に努めていただきたい、・教員も意欲的に理解を深める努力があり、子供達へ適切な指導ができている等の意見である。【金野委員長】

◆各課が積極的に事業を実施していると思うが、例えば「HI, あきしま」を学校に配ったが、配っただけ、周知しただけで良いのかと思う。今後どうしていくのかということも考えて「良」とした。【佐藤委員】

◆学校は様々なことを実施してくれていると思う。自分の体感として、昔より周知が進んでいると思い「優」とした。【牧野委員】

◇「HI, あきしま」の配布について、内容によっては年齢的に身近なものであるので、子ども達もそして保護者の方も全員とは言わないが、目を通していただいていると期待している。【事務局】

◆配る、配らないは、学校で決めているのか。【向井委員】

◇学校毎ではない。【事務局】

◆もし「HI, あきしま」を配付する際に、記事の推薦する箇所を知らせてもらえれば、子ども達に一言添えて配ることができるかもしれない。【佐藤委員】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：優【金野委員長】

② 家庭・地域等における人権・男女平等啓発

☆委員からは、・講座の内容が興味深く、創意工夫の跡が感じられる、・男性や若年層、子育て世代の方々の

参加が見られ取組の狙いに合致している、・オンライン開催を実施していることは良い、・異なる視点での講演会が実施されていて良い等の意見である。【金野委員長】

◆継続的事业や課題など総合的に見て「優」より「良」かと考えた。今後更に実施していただきたい。【向井委員】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定： 優【金野委員長】

目標 I-3 多様性への理解の促進

①多様性を認め合う意識づくり

☆各委員からは、・市民ロビーで開催することの効果はどこまで期待できるか分からない、・既に他の業務でひっ迫している部署へ負担とならないようにも合わせて検討する必要がある、・催しの一部で多様性尊重に限局した施策かという物足りなさを感じるとの意見である。【金野委員長】

★課題と今後の予定の中で、コロナ禍で中止していた、人権擁護委員の配置をできた。見学者数の集計も含め継続していきたいとあるが、内容について説明はあるか。【柴田副委員長】

◇パネル展の開催時コロナ禍では、感染予防のため、展示物の掲示のみであったが、コロナ後は人権擁護委員を配置し、掲示物の説明や、アンケートの実施を行ったことかと思う。【事務局】

★この部分は新しい施策のため発展途上である。そのため、いきなり「優」評価ということは難しいかと思う。ただ、工夫はみられるので「良」はいかがか。【柴田副委員長】

☆今後への新しい取組等の期待も込めてということである。【金野委員長】

◆評価：可【長谷部委員】◆評価：良【牧野委員】◆評価：可【向井委員】◆評価：可【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

② 性の多様性に関する啓発及び性的マイノリティへの支援の充実

☆各委員からは、・新たな試みも見られ今後の効果に期待が持てる、・常勤の相談員の方がいらっしゃるの
は心強い、・スクールカウンセラーは、児童・生徒のみならず、保護者も相談できることを周知しても良い、・
各種情報伝達プランを上手く活用されている等の意見があった。【金野委員長】

☆No.15秘書課 報告書では「相談体制はできていない」と記載されているが、委員からの質問の回答には
「具体的な時期は予定していない」となっており、相談窓口の設置について前向きなのか、そうではない
のか読み取れない。【金野委員長】

◇専門窓口を作るほどご相談が来ておらず、主管課でも苦慮しているところと思われる。そのため、現在
は、専門家も配置されている東京都の窓口を丁寧に伝えている状況ということである。【事務局】

☆作ることを求められていると考えているのか。相談窓口を作ることだけが、解決ではないのではない
かというご意見もあるので実態に即して考えて良いのでは。このような意見があったことを報告して
いただきたい。【金野委員長】

◆No.15指導課 スクールカウンセラーが配置されている記載があるが、保護者が直接相談出来ることが周
知されていないのではないか。不登校等も含め我が子のことについて悩んでいる親御さんもあると思うが、
どれほどの親御さんに利用されているのかと思う。あまり届いていない気がする。これからもっと必要な
所であると思うので、幅広く周知して利用していただきたい。【長谷部委員】

☆今ある制度を有効に利用してほしいということである。また、長谷部委員から悩みごと相談は予約制か、
というご質問があった。飛び込みの相談も受けているようだが、予約制と記載されていると尻込みしてし
まう。もう少しウェルカムな印象が欲しい。【金野委員長】

◇難しいところである、相談者には予約をとり、概ね1時間じっくりと相談していただきたい部分もある。

急な相談であると相談員が1名のため対応できない時もある。空いている時には可能な限り対応したいと考えている。【事務局】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：良【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

目標Ⅱ 4 あらゆる分野における女性活躍の推進

① 女性の活躍推進に向けたポジティブ・アクションの普及啓発

☆各委員からのご意見は、・取組の内容や課題、今後の予定が前回と同じである、・前年度の課題が持ち越されている、・定員数を上回る申込数で素晴らしい取り組みだと感じる等。【金野委員長】

◆評価：優 過去の状況は分からないが、定員数を超えるということは、市民の興味のあることに対応していると捉えた。【上川委員】

☆こちらは重点施策にもなっているため、今後も力を入れていただきたいという期待も込めて報告したい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

② 女性のキャリア形成に向けた支援

☆各委員から、・周知方法にも工夫が見られる、・相談しやすい時間帯の設定など、利用者目線に立ったサポートが行われている、・創業希望者への支援の充実を感じるという意見がある。【金野委員長】

◆No.20産業活性課のイベントが1つ減ったため、「b」というのは、実施したかったが、出来なかったのか。スクラップビルドをしないと、事業が増える一方なので、効果を考えて不要なものであれば、事業が減ったことをマイナスと捉える必要はないのではないか。【向井委員】

◇共催事業で相手方の都合で実施不可能となったとのことであった。そこで「b」としたということは、実施の意思があったのではないかと考えている。【事務局】

★向井委員のご意見の部分であるが、産業活性課がイベントを1つ実施しない、それでも十分であると考えれば、「b」評価としないはずである。自己評価を落とすということは、やりたいが出来なかったということと判断して良いかと思う。基準どうこうではなく、産業活性課がどう判断しているかということによろしいかと考える。【柴田副委員長】

★評価が分かれたので、述べさせていただく。長く委員をしていて、この部分は大きな変化だと考える。産業活性課は一時期硬かった。しかし、ここ2、3年は積極的になっていると感じる。自己評価も厳しく、頑張っってやっていくという姿勢がみられる。今後状況が悪くなれば、もちろん評価は下げさせていただくが、今回は応援の意味も込めて「優」ではいかがか。【柴田副委員長】

☆では、今後の状況も注視していくということをお願いしたい。【金野委員長】

◆評価：優【長谷部委員】 ◆評価：良【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：優【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：優【金野委員長】

③ 市職場内及び市主催事業、審議会等における女性参画の推進

☆長谷部委員のご意見はいかがか。【金野委員長】

◆確かに昨年、女性管理職の割合が東京都の自治体では一位であった。現在30.3%ということだが、40%に目標を設定したことは評価するが、どうやってそこまで持つて行くのか、懸念している。【長谷部委員】

◇職員課で計画している「次世代育成支援プラン」での目標を5年度に30%から40%へ引き上げたので、「育

成支援プラン」の目標年度に向けて実施していくものである。【事務局】

◆№21職員課の主要事業は、管理職比率の他に審議会等の比率もあるが、審議会の比率の記載が無いようである。【佐藤委員】

◇確認し、報告する。【事務局】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：優【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆全体として、女性管理職の比率について、評価されているということで優とする。

☆評価の決定：優【金野委員長】

④地域における女性リーダーの育成

☆委員からは、・市としてできることは行われていると思う、・自治会と市の関係では自治会に女性参画を促しても不足だと感じたといった。いかがか。【金野委員長】

◆自治会に対して市が女性参画を促しているかどうか、わからなかった。【上川委員】

☆№22生活コミュニティ課には、自治会連合会を通じて、女性の参画を促した。と記載がある。働きかけはしているという事か。【金野委員長】

◇以前の推進委員会でもご意見があったが、充て職であることが、女性の参加を阻んでいると思われるので、その部分を変えていけないか、女性が参加するために他の手段の検討を希望するという意見を、昨年度も報告はしているところである。【事務局】

◆会長職にこだわる必要はないのではないか。団体等の中心で活躍、活動している方や参加率の高い方でも良いと思う、トップに立つ者が性にこだわる必要はない。色々な性の方が自分の力を発揮できるパーセンテージを確認していても良いのではないか。【佐藤委員】

☆自治会の加入率はどの位か。【金野委員長】

◇30%を切ったところである。【事務局】

☆そうすると、コミュニティ活動をしているというだけでも意味があり、佐藤委員のご意見のとおり、多角的にとらえる必要があるのではないか。是非伝えて頂きたい。【金野委員長】

◆市の取り組みに反することになるかもしれないが、積極的に取り組む自治会とそうでない自治会とあると思うが、子育て世代には非常に負担が大きいと聞いている。役職のある方の高齢化が進んでいるので、若い方が入ると喜ばれるが、色々な用を任される。PTAもそうである、活躍してほしいといっても女性の負担が増える。どう変えるかが悩ましいところである。声をかけ続けるということは良い事なのか、コミュニティ活動へ女性参加を促すということは、負担が増えるという事ではないかとも思う。【長谷部委員】

◆ここでは地域における女性リーダーとなっているので、自治会にこだわる必要はないのではないか。地域では小さな規模でも趣味や子育てや、サロンのような形で活動されている方々はいらる。新しい形に変わっていくのではないかと。地域のグループが自治会と応答していくこともできるのではないかと。【森川委員】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：良【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

目標Ⅱ 5 働く場におけるワーク・ライフ・バランスの実現

① ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方の推進

☆各委員からは、・全体的に取組が積極的に推進されている、・市独自のセミナー開催も目指していただきたい、・業務の効率化を同時に構築していく必要がある、・オンラインでも視聴・参加できると助かる、・年長者は今までの方が良いという方もいるのではないかと等のご意見である。【金野委員長】

◆若い方はすぐに対応できるが、高齢者は億劫に思う方もいるのではないかと。【上川委員】

☆そういうことも念頭において情報を発信していただきたい。【金野委員長】

◆有給休暇の取得に触れていたが、自分を考えても休むための準備と休んだ後の処理が大変というのでは意味がない。他の人とも連携し、休暇の前後にしわ寄せが来ないことが理想だと思う。【森川委員】

☆確かに、ノー残業デーが増えても持ち帰り仕事が増えては意味がない。ワーク・ライフ・バランスを実施するということは、より良い仕事の仕方につながるものだということがある程度は普及しているが、引き続き発信していただきたい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：優【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

② 事業所におけるワーク・ライフ・バランスについての意識啓発

☆委員からは、・具体的なアクションを期待する、・人手不足が深刻化しており、・全ての事業所が育休など取得できているとはいえない、・商工会との連携など評価できる、・育児、介護などに関わっている人以外の方々が不満を感じないようにしていくことも大切、・中小企業にこそワーク・ライフ・バランスを導入し離職率低下や生産性向上が見込めないだろうか等の意見があった。【金野委員長】

☆前段にも柴田副委員長からの話があったが、この部分で産業活性課の状況等はいかがか。【金野委員長】

★以前は、民間の事業なので、介入・指導を手控えていた面があると思うが、共同参画というものはそういうものではなく、社会全体が変わっていく中でビジネスルールも変わっていかなくてはいけない、生活を大事にしていくという面を強調していったので、ご理解を得られて取組も変わってきているのではないか。かといって完全に問題を解決したわけではないので、慎重に見極めなければいけない。【柴田副委員長】

☆引き続き見極めていきたい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】 ◆評価：優【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

目標Ⅱ 6 家庭生活におけるワーク・ライフ・バランスの実現

① 子育て支援サービスの推進

☆委員からは、・全体的にきめ細やかな、手厚いサポート体制が敷かれている、・病児保育の拡張を求める声がある、・保育等の質の向上を目指していただきたい等のご意見があがっている。【金野委員長】

◆数の増加は、質が心配である。特に保育園、学童クラブは低年齢の子供たちなので、守るべき部分を守っていただきたい。【佐藤委員】

☆保育士の確保のための補助等必要な事は実施していただいているが、引き続き取り組んでいただきたい。【金野委員長】

★ここは男女共同参画の根幹とも言うべきところで、ここが進まないと共同参画も進まない、というところである。努力もしていただいているので、優で良いのではないか。【柴田副委員長】

◆来年度は外部指導員の見積りはどのようになりそうか。代官山と東中神のURなどの開発が進んでおり、人口増加、子どもの増加が考えられるがいかがか。【長谷部委員】

◇計画して推計しているところである。他市は人口が減少し始めているが、昭島市は増加しているところである。それを踏まえ子育て部門も含めて計画等を検討している。【事務局】

◆評価：優【長谷部委員】 ◆評価：優【牧野委員】 ◆評価：良【向井委員】 ◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】 ◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：優【金野委員長】

② 介護支援サービスの推進

☆委員からは、・十分に実施されていると思うが、認知度の向上を目指していただきたい、・セミナーは介護

の困りごとのテーマで継続してほしい。・回数はもう少し増やせないか。・介護支援を受けるためのしくみがやや煩雑なので、地域ごとの介護の窓口として存在感を示してほしい等の意見がある。【金野委員長】

◆担当課評価も内容も良いと思う。【牧野委員】

★担当課評価は高めなのだが、No.33の内容は、実際はイベントを開いてちょっとやっただけということと、No.34地域包括センターも既に設置されているものなので、担当課評価が甘いと思う。長谷部委員のご意見のとおり、今後需要が高まる分野なので、「良」で良いのではないか。【柴田副委員長】

☆今後ますます必要な分野となるので、拡充を期待するということにしたい。【金野委員長】

◆評価：良【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：優【向井委員】◆評価：良【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆評価の決定：良【金野委員長】

③男性の家事・育児・介護等の参画の環境整備

☆委員からは、・男性参加者が増えることを期待する、・各世帯の中でどれだけ男性が参画できているかという声を聞いてみないと判断が難しい等の意見が出ている。【金野委員長】

◆市民意識調査での「男女が対等となっていると思うか」の結果が確認でき、平成29年度から10ポイントほど上がっている事がわかり参考になった。【向井委員】

◆評価：優【長谷部委員】◆評価：優【牧野委員】◆評価：良【向井委員】◆評価：優【森川委員】

◆評価：良【佐藤委員】◆評価：優【上川委員】

☆引き続き取り組んでいただきたい。【金野委員長】

☆評価の決定：優【金野委員長】

3 その他

◇第3回委員会は、8月8日(木)午後6時30分から男女共同参画センターにて開催し、男女共同参画プラン目標Ⅲ、Ⅳのご審議をいただく。また、第4回委員会は10月4日(金)に開催し、その際は、事務局にて報告書の案を作成するため、総合的な評価及び提言のまとめとして、報告書の内容についてご審議願いたい。会議後にご意見を反映させた報告書をメールにて皆様にご確認頂き、報告書を作成致す。その後、10月に委員長から市長への報告を予定している。【事務局】

☆それでは、第2回の推進委員会を終了させていただく。次回もどうぞよろしくお願いしたい。ありがとうございました。【金野委員長】